

渡辺恂三氏(昭和二十一年卒)より「学童疎開の思い出」の絵を母校に寄贈

去る五月三十日に渡辺恂三氏ほか三名(井上義文、檀野統一、椎名國雄)が竹早小学校の田中副校長先生を訪れ、渡辺氏の描いた絵画「学童疎開の思い出」を母校に寄贈した。

渡辺氏は竹早小学校(当時東京第一師範学校女子部附属国民学校)の五年生だった昭和十九年八月から六年生の昭和二十年十二月まで戦中・戦後の一年四ヶ月を竹早小学校の集団疎開先であった宮城県加美郡中新田町(現加美町)の学寮で過ごされた。

昨年その思い出を絵画にされた。

絵には当時北仙台駅から陸羽東線の中新田駅(現西古川駅)まで通っていた軽便鉄道、担任だった泉先生の句「原爆の落としも知らず広島駅のホームの水飲みし我」を描いたもの、食糧にするため稲の落穂拾いやいなご取りなどが描かれている。

寄贈に立ち会われた田中副校長先生は、「九月になったら渡辺先輩に再度ご来校願ひ、朝の全校集会の折に児童に絵の寄贈を紹介する機会を設けます」と話された。

渡辺氏は東京芸大絵画科を卒業、長らく京都市立芸大の教授を勤められた。  
新制作協会会員。

昭和22卒 椎名 國雄